

東北地方 1 か月予報

(2 月 5 日から 3 月 4 日までの天候見通し)

平成 2 3 年 2 月 4 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

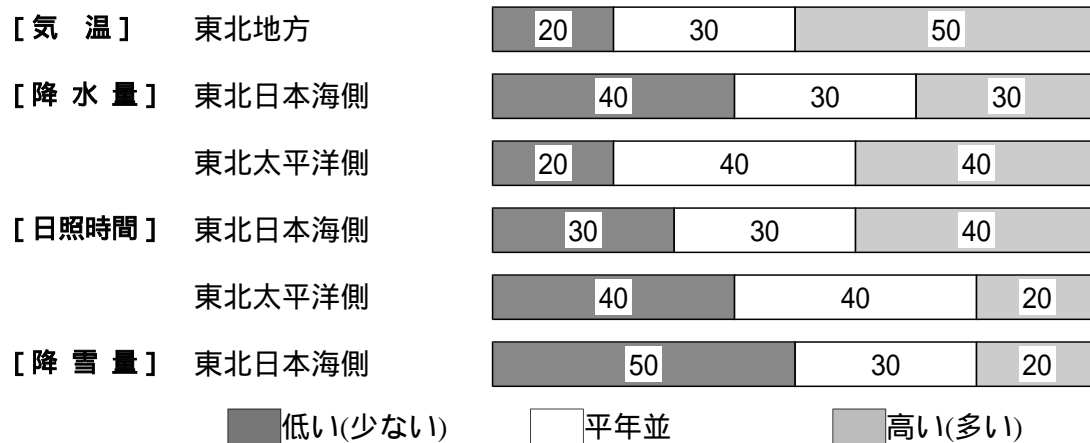
向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

向こう 1 か月の平均気温は、高い確率が 5 0 % です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに 4 0 % です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに 4 0 % です。日本海側の降雪量は、少ない確率が 5 0 % です。

週別の気温は、1 週目は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。2 週目は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。3 ~ 4 週目は、高い確率が 5 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 2 月 5 日 (土) ~ 3 月 4 日 (金)
1 週目 : 2 月 5 日 (土) ~ 2 月 1 1 日 (金)
2 週目 : 2 月 1 2 日 (土) ~ 2 月 1 8 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 2 月 1 9 日 (土) ~ 3 月 4 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月11日

3 か月予報：2月24日（木） 14時

暖候期予報：2月24日（木） 14時

< 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	-0.8	105.8	79.0	185	-1.6	-1.2	-0.2
深浦	0.0	74.8	54.3	106	-0.7	-0.3	0.6
むつ	-1.3	82.2	97.4	160	-2.0	-1.6	-0.7
八戸	-0.6	50.1	134.3	98	-1.4	-1.0	0.0
秋田	0.5	90.4	71.2	108	-0.2	0.1	1.0
盛岡	-1.2	55.2	131.5	91	-2.1	-1.6	-0.6
大船渡	1.1	56.2	142.0	28	0.5	0.9	1.6
宮古	0.5	75.9	152.1	68	-0.2	0.3	1.0
仙台	2.0	47.7	152.3	29	1.3	1.8	2.4
石巻	1.2	43.1	163.2	21	0.5	1.0	1.7
山形	0.1	65.5	104.1	137	-0.6	-0.2	0.6
新庄	-0.6	134.0	62.0	222	-1.3	-0.9	-0.2
酒田	1.7	107.9	66.3	109	1.1	1.4	2.2
福島	2.1	49.5	147.0	61	1.4	1.9	2.6
若松	-0.1	64.6	100.7	145	-0.8	-0.3	0.4
白河	0.8	42.0	154.5	48	0.1	0.6	1.2
小名浜	4.0	60.6	172.5	0	3.3	3.7	4.4

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.6	78 ～ 112	97 ～ 104	77 ～ 117
東北日本海側	-0.4 ～ +0.5	93 ～ 108	92 ～ 106	89 ～ 117
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.6	62 ～ 121	98 ～ 104	69 ～ 120

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.8	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.6
東北日本海側	-0.7 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.7 ～ +0.6
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.7

< 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成23年2月4日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（2月5日～3月4日）：

低気圧や気圧の谷が数日の周期で通過し、その後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%です。東北日本海側の降雪量は、少ない確率が50%です。

1週目（2月5日～2月11日）：

東北日本海側は気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が多く、期間のはじめは雪や雨の降るところがあるでしょう。東北太平洋側はおおむね晴れますが、期間のはじめは雪や雨の降るところがある見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

2週目（2月12日～2月18日）：

低気圧や気圧の谷が数日の周期で通過し、その後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

3～4週目（2月19日～3月4日）：

低気圧や気圧の谷が数日の周期で通過し、その後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

気温は、高い確率が50%です。

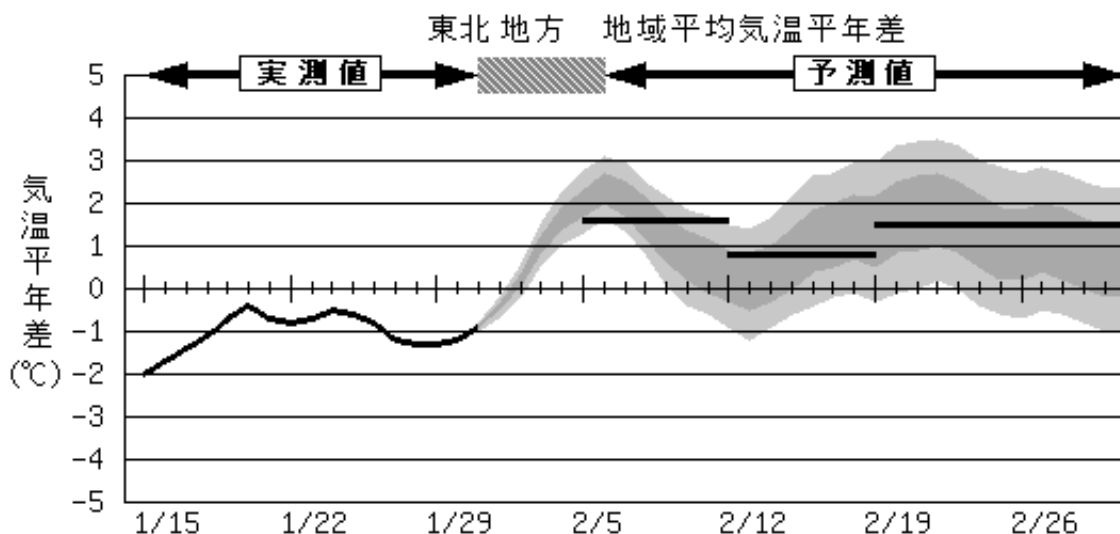
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
7.1	18.0	6.1	16.2	16.3	8.4	19.3	5.4	11.7	12.0	18.2	6.9

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目、3～4週目ともに平年を上回る予想となっている。



- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅（濃い陰影の範囲）と、信頼の程度が70%の幅（濃い陰影と薄い陰影の範囲）を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想（500hPa 予想天気図）

1か月平均：

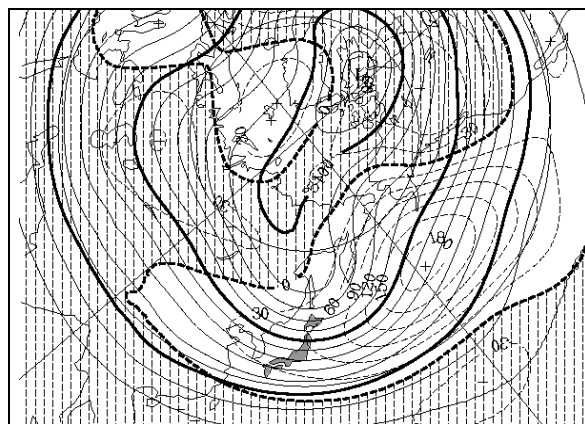
日本付近はチベット付近から太平洋にかけて帯状に広がる正偏差におおわれる。海面気圧予想図（図略）では、西高東低の冬型の気圧配置となるが、等圧線の間隔は広く、冬型の気圧配置は弱い。

1週目：

本州を中心に東西に正偏差が広がるが、サハリン付近は負偏差となる。東北地方は高温傾向だが、一時寒気の影響を受ける可能性がある。

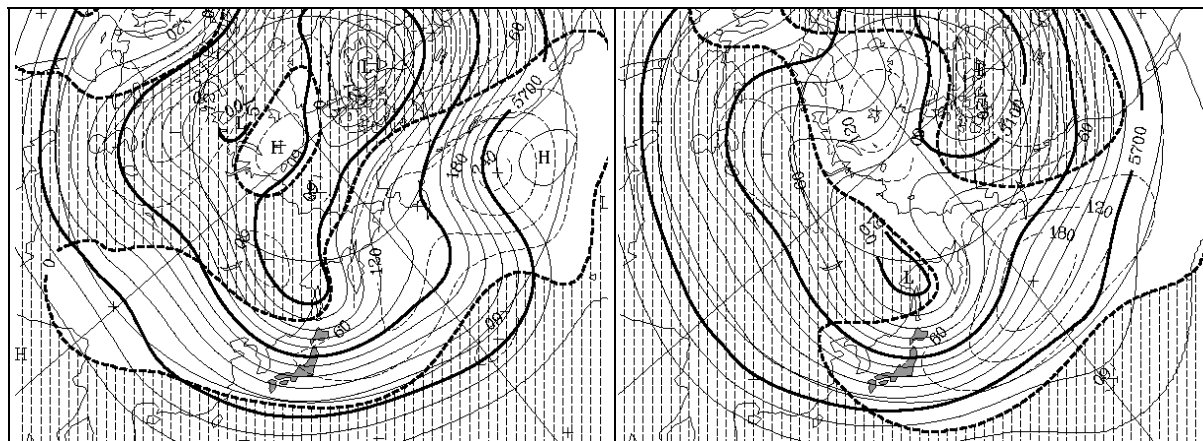
2週目：

日本付近は日付変更線付近に中心をもつ正偏差におおわれるが、サハリン付近は負偏差となる。東北地方は高温傾向だが、一時寒気の影響を受ける可能性がある。



1か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1, 2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。



1週目平均 500hPa 予想天気図

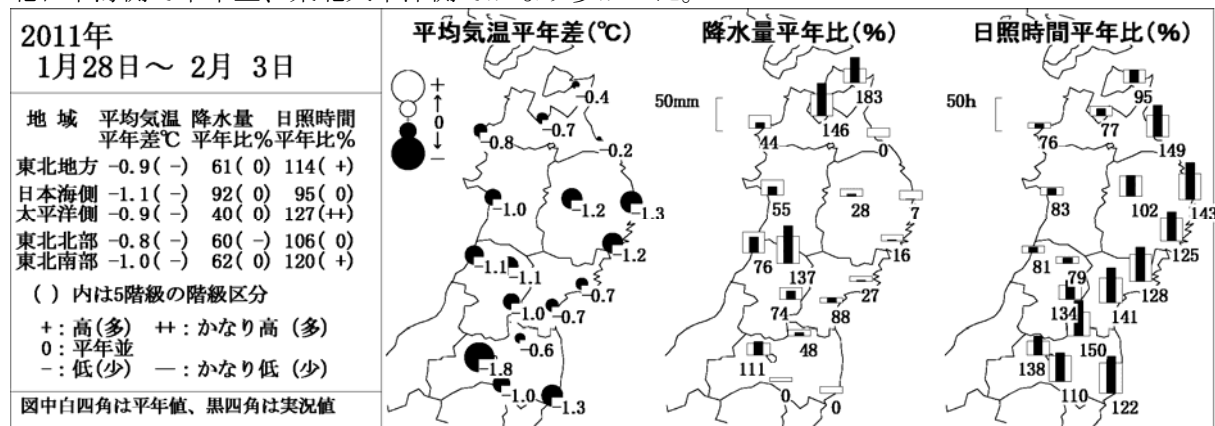
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間（1月28日～2月3日）の天候の経過

期間の中頃までは冬型の気圧配置が続いたが、期間の終わりは日本の南から高気圧におおわれた。このため、東北日本海側は曇りや雪の日が多く、期間の中頃までは大雪となったところがあったが、期間の終わりは晴れた日があった。東北太平洋側は晴れの日が多かった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部で少なく、東南北部で平年並。日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多かった。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）